

報徳準V2年連続

センバツ決勝2-3



決勝で惜敗し、肩を落とす報徳ナイン。31日、西宮市の甲子園球場

第96回選抜高校野球大会は31日、西宮市の甲子園球場で決勝が行われ、報徳(兵庫)が2-3で高崎健康福祉大高崎(群馬)に敗れ、22年ぶり3度目の優勝を逃した。準優勝は2年連続。高崎健康福祉大高崎は群馬県勢として初の栄冠を手にした。

報徳は今大会、1回戦で愛工大名電(愛知)に延長十回タイブレークの末に3-2でサヨナラ勝ちした。2回戦は12安打を放って常総学院(茨城)に6-1で快勝。続く準々決勝は昨秋の近畿大会で敗れた大阪桐蔭を4-1で退け、雪辱を果たした。強豪撃破で手応えを深めた報徳ナインは、準決勝でも初めて4強入りした中央学院(千葉)を4-2で下し、決勝に駒を進めた。しかし、兵庫県勢として7度目の頂点には立てなかった。

報徳は西宮市の私立男子校。1932年創部の硬式野球部は今回を含め春23度、夏15度甲子園大会に出場している。